

30-32, Enoki-cho, Suita-city, Osaka, Japan, 564-0053 http://www.itwppfjapan.com/

Devcon_®

最新改訂日 文書番号 2023/12/27 TDS-DV207071

Technical Data Sheet (TDS)

デブコンPM

概要

デブコンPMは、耐熱性に優れており、蒸気配管のような熱の掛かる設備の補修に適しています。また、耐薬品性も有しており、薬品使用箇所の補修・予防保全にも最適で、セラミック粉を高配合しており、機械的強度も高い万能型補修剤です。さらに当社従来品と比較しても作業性にも優れ、金属補修剤を初めてご使用される作業者様にも容易にご使用頂けます。

製品特長

優れた耐熱性及び耐薬品性 機械的強度が高い 低温環境での優れた作業性

主な用途

蒸気配管等の高温箇所の補修に 薬品タンク、薬品が通る配管等の補修及び予防保全に 設備損傷個所補修及び配管予防保全全般に

適用材質

塗布可能な材質 金属全般 コンクリート 木材 セラミック 石材 注意を要する材質

プラスチック(PP, PE, シリコン, フッ素樹脂は接着不可) ゴムメッキ処理金属

保管

直射日光の当たらない、5~35℃の環境 下で保管下さい。

※低温環境で長期間保管すると、主剤側が結晶化する場合が有ります。その際には容器ごと湯煎する等して40~50℃を目安に加温すると通常の状態に戻ります。

物理的情報(硬化後性能は24℃x7日養生後測定)

項目	単位	物性値	備考	
色調(混合後)	-	濃灰色	目視	
混合比	重量比	7:1	-	
(主剤:硬化剤)	容積比	3:1	-	
性状(混合後)	-	パテ状	目視	
可使時間	分	45	-	
硬化時間	時間	6 - 10	-	
耐熱温度	°C	250	最高	
		<200	連続	
比重	-	1.8	JIS K 7112	
推奨塗布厚み	mm	>3.0	-	
圧縮強さ	MPa	111 - 124	JIS K 7181	
曲げ強さ	MPa	73 - 83	JIS K 7171	
引張強さ	MPa	39 - 49	JIS K 7161	
硬さ	ショアD	86	-	
引張剪断接着強さ	MPa	15 - 18	JIS K 6850	

上記物性データは弊社試験室内での取得データで有り、保証値では御座いません。

耐薬品性

21品类				
薬品	×	Δ	0	0
塩酸 10%				•
塩酸 36%		•		
硫酸 10%				•
硫酸 50%				•
イソプロパノール				•
ノルマルヘキサン				•
アセトン	•			
ガソリン(無鉛)				•
灯油				•
水道水				•
食塩水			•	
カッティングオイル				•
水酸化ナトリウム 10%				•
水酸化ナトリウム 20%			•	
水酸化カリウム 20%			•	
*************************************	1 4 = 4	FA /+ +	2200	

耐薬品性は室温7日間硬化養生した試験体を23°Cx30日間浸漬して評価

^{*}上塗り可能時間を超えた場合は塗布部に研摩&脱脂処理を施してから上塗りしてください。

30-32, Enoki-cho, Suita-city, Osaka, Japan, 564-0053 http://www.itwppfjapan.com/



製品情報

製品番号	荷姿(重量	荷姿(重量及び容積)		個別重量			塗布可能面積
DV207071	0.5 kg	0.28 L	主:	0.44 kg	硬:	0.06 kg	0.28 m ² /set (@1mmt)
DV207072	2.0 kg	1.11 L	主:	1.75 kg	硬:	0.25 kg	1.11 m ² /set (@1mmt)
	kg	L	主:	kg	硬:	kg	m²/set (@1mmt)
製品ライフ 消防法							
製造後未開封で 36	ヶ月 主: 指定	主: 指定可燃物(可燃性固体類)			硬:	指定可燃物(可	燃性固体類)

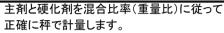
基本的な補修法

1. ケレン処理(粗めのざらつきをつける処理)

デブコンを塗布する表面は全て乾燥させ、き れいに汚れを落とすことが必要です。塗装、

錆、メッキなどはショット・ブラスト又は目の粗 い研磨工具(ヤスリ、#40サンドペーパーな ど)でケレン処理を行います。

4. 計量



※本説明書やカタログには容積比が表示してあり ますが、計量誤差が生じ、硬化にムラが出易いの で、なるべく秤を用いて重量比で計量して下さい。 ※※樹脂分が分離している場合も御座いますが、 その際は使用前に一様に混合ください。





ケレン処理が終了したら、速やかに脱脂処理 を行います。油やその他異物はたいてい表面 下に染み込んでいるので、アセトン、MEK(メチ ルエチルケトン)など揮発性の高い溶剤を用 いて脱脂処理を行って下さい。 ※脱脂溶剤の販売は行っておりません。

5. 混合

6. 塗布

平らな板や厚紙の上に取り出し、パテナイフ やヘラなどで混合します。混ぜ残しのないよう に、均一になるまでしっかりと混合して下さ い。

※冬期など低温下では固くなって混ぜにくくなりま す。その時は使用前に主剤を温めておくと混ぜやす くなります(目安:20~25℃)。

3. プライマー塗布

必要に応じ、プライマー処理を施して下さい。 高温時接着性及び耐水接着性を向上させる目的:耐熱プライマー (特に湿潤している)コンクリート面補修時:ECプライマ-※上記プライマーは別売です。

パテナイフやヘラなどで、補修する部分の上、 及び周辺に厚めに塗り広げます。

冬期など気温が低いと硬化時間が長くなりま す。投光器や工業用ドライヤーなどで加温す ることで、硬化を促進可能です。

使用上の注意

火気厳禁を励行して下さい。

皮膚には付けないように、保護手袋、前掛け等を着用する。また、作業着、手袋等に付着したまま着用しないで下さい。

蒸気の吸入は避け、取扱う作業場所には局所排気装置を設けて下さい。

夏場、汗をかくような時は、皮膚から吸収しやすいので、特に充分に換気し、顔等露出部分に保護クリームを塗ったり、 長袖を着用し、蒸気に直接触れないようにして下さい。

一度に多量の材料を混合した場合、急激な発熱を生じる場合がありますので、注意して下さい。

混合後重量が数g程度の微小混合の場合、硬化にムラが出易くなりますので、注意して下さい。

可使時間、硬化時間は使用環境温度及び塗布厚みに影響を受けますので注意して下さい。

長期間の強酸や有機溶剤への浸漬は推奨しておりません。

使用時以外はキャップをしっかりと閉め、子供の手の届かない、直射日光の当たらない涼しい場所に保管して下さい。

廃棄の際は全て硬化させ、廃棄物業者に正規の方法で委託して処分して下さい。

その他注意事項についてはSDSを参照し、順守して下さい。

製造・販売元

株式会社ITWパフォーマンスポリマーズ&フルイズジャパン

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町30-32

TEL: 06-6330-7118代) 技術サービスフリーダイヤル: 0120-03-4880 FAX: 06-6330-7083